

第4学年 算数科学習指導案

日時 平成16年10月19日(火)6校時
児童 4年2組男11名女12名計23名
授業者 井上 淳子

1 単元名 しきつめ(東京書籍)

2 単元について

(1)教材観

この単元に関わる小学校学習指導要領第4学年の目標は「(3)図形を構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにする。」である。

本教材では、形も大きさも等しい二等辺三角形や正三角形を敷き詰める活動を通して、それらで平面を敷き詰めることができることに気付いたり、敷き詰めた図形の中に四角形や六角形を認めたり、拡大された三角形を見つけたり、図形の美しさを感じたりするなど、図形についての見方を豊かにしていくことができる。

(2)児童観

本学級は与えられた課題に対して意欲的に取り組む児童が多く、間違っただけの解答に対してはなぜ間違っただけかをみんなで考えようとする雰囲気がある。しかし、自分の言葉で表現することに対しては消極的で、なかなか考えを述べようとしない児童もいる。そこで、まず考えをノートに書くことや、少人数で話し合いの取り組みを行ってきたことで、少しずつ考えを発表できるようになりつつある。

本単元の学習を進めるにあたり、その基盤となる基本的な事項を確認するとともに、実態を把握するための事前テストを行った。結果は、以下の通りである。

	問 題	正答率	誤答例・誤答理由
1	(1)三角形の頂点の数	100%	
	(2)三角形の辺の数	95%	・4本…数え間違いと思われる。
2	三角形の作図	90%	・辺と辺をくっつけていない。
	四角形の作図	95%	・辺と辺をくっつけていない。
3	(1)複数の図形の中から直角三角形を見つける	38%	・直角を見つけることができない。 ・ななめになっていると見つけられない。
	(2)複数の図形の中から二等辺三角形を見つける	19%	・マスで数えることができていない。 ・2つの辺の長さが同じ辺を見つけれない。
4	等しい2つの角を見つける(二等辺三角形)	81%	

テストの結果から、三角形や四角形を感覚として捉えているが、その定義は十分に理解していない。直角三角形や二等辺三角形の定義をもう一度確認し、弁別する際、どこに着目すればいいのかを気付かせたい。

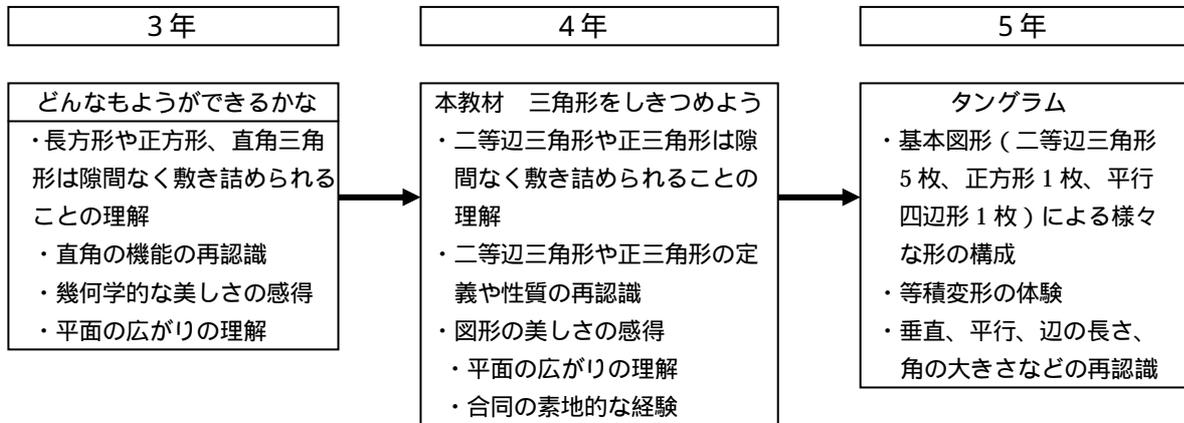
(3)指導観

本教材では、前単元で学習した二等辺三角形や正三角形を用いて敷き詰め指導を行う。三角形という最も小さい多角形に取り組むことで平面の広がりを感じさせたい。また、敷き詰めの活動のねらいである、図形の美しさを感じ、図形についての見方を豊かにすることを十分達成するため、2時間扱いで指導していきたい。

第1時では、三角形は敷き詰めることができるということに重点を置き、取り組ませたい。そのために実際に並べてみたり、分度器を用いて3つの角が敷き詰められている、それぞれの角度を測ったりして「直線=180度」を感じさせていく。その際、隙間がないことや「同じ大きさの同じ形をした図形を重ねたり隙間なく、ぴったりと並べていくこと」という敷き詰めのきまりを理解させる。

第2時では敷き詰めるとその中にどのような形が見えるか、感覚的に捉えさせる。その図形を二等辺三角形や正三角形の定義や性質をもとに説明させ、図形の見方を豊かにしていきたい。

3 単元の関連と発展



4 前単元と本単元の目標と指導計画

5 本時の指導

(1) 本時の授業仮説

二等辺三角形を敷き詰めた模様の中から見出した図形について、辺の長さや角の大きさに着目させて、比較検討すれば、定義や性質の再確認や図形の見方を豊かにすることができるであろう。

(2) 本時の目標

同じ大きさ・同じ形の二等辺三角形を敷き詰めた模様の中から、新たな図形を探そうとする。

(3) 本時に関わる基礎・基本と発展場面について

ア 本時の学習に必要な基礎・基本

- 二等辺三角形、正三角形の定義、性質、かき方
- 形としての角の性質とその大小比較
- 回転角の大きさと単位
- 分度器の仕組みと使い方
- 対頂角の性質
- 図形を構成要素(辺の長さ、角の大きさ)に着目して弁別する見方

イ 本時に関わる基礎・基本

○敷き詰めた模様の中から、構成要素に基づいて新たな図形を見つけることができる。

ウ 本時の発展場面について(発展)

二等辺三角形を敷き詰めた模様の中に図形を認める活動をさせる。そして、既習の図形であればその図形が何なのか、定義や性質を用いて確認させる。未習の図形については特徴をつかませ、図形についての見方を豊かにさせる。

(4) 展開

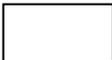
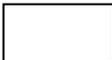
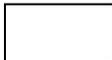
段階	学習内容・学習活動	評価と支援の手立て	準備・資料
つかむ 5分	<p>1 前時想起 ○前時で活動したことの確認をする。</p> <p>2 課題把握 しきつめたもようの中から、色々な図形を見つけ出そう。</p> <p>3 見通し (1) どのような形が見えそうか。 ・横に長い長方形 ・大きな二等辺三角形</p>	<p>・何を敷き詰めたのかを確認する。</p> <p>・児童が敷き詰めた形を提示し、その中に見える図形について、2 つくらい確認する。 ・どのように見ればいいのか確認する。 (色に関係なく見られるように)</p>	<p>・前時の作品</p> <p>・実物投影機 ・TPシート</p>
たしかめる	<p>4 自力解決 ○中に見える図形を書き出す。 ・二等辺三角形のしきつめ 二等辺三角形、直角二等辺三角形、長方形、正方形、ダイヤの形、とびばこの形、長方形をななめにした形</p>	<p>・既習の図形についてはなぜその形に見えるのか、理由も書かせる。 (定義や性質に触れるようにさせる。)</p> <p>・二等辺三角形の敷き詰めの中から見える図形で考えさせる。 机間指導 1回目 ○どのような形を捉えているのかを見取る。 机間指導 2回目 ○評価規準に基づいて評価し、支援する。</p>	<p>・分度器 ・定規</p>

<p>た し か め る 30 分</p>	<p>5 比較・検討 (1) 既習図形について、定義や性質に基づいて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二等辺三角形 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの辺の長さが等しい ・ 2つの角の大きさが等しい ○直角二等辺三角形 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの辺の長さが等しい ・ 1つの角が90度 ○長方形 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの角が90度 ・ 向かい合っている辺の長さが等しい ○正方形 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの角が90度 ・ 4つの辺の長さが等しい ○ダイヤの形(ひし形) <ul style="list-style-type: none"> ・ 頂点が4つある ・ 4つの辺の長さが同じ ○とびばこの形(台形) <ul style="list-style-type: none"> ・ 頂点が4つある ・ 上と下の辺が ○長方形をななめにした形(平行四辺形) <ul style="list-style-type: none"> ・ 頂点が4つある ・ 上と下、左と右の辺の長さがそれぞれ同じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きめの三角形を用いて、形が捉えやすいようにする。 ・ 二等辺三角形の性質を基に、辺の長さや角の大きさに着目させる。 ・ 二等辺三角形の性質を基に、辺の長さや頂点の数、角の大きさに着目させて見つけた形の特徴を考えさせる。 ・ 特徴を考えることにあまり深い入りせず、既習の図形の性質を再認識することに重点をおく。 ・ 左記の図形を全て取り上げるとは限らない。 	<p>・ 大きめの三角形</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>6 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺の長さや角の大きさに気をつけると形を見つけることができた。 ・ 紙を縦にしたり、横にしたりするといろいろな形が見えた。 ・ 同じ色の三角形だけを見るのではなくて、2つの色を混ぜながら見ると、いろいろな図形を見ることができた。 <p>○正三角形の中には図形は見えないか促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな正三角形 ・ ダイヤの形 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の言葉でまとめる。 ・ 発表し合うことで、図形の見方を広げる。 ・ 残りの正三角形について取り上げ、さらに図形の見方を養う。 	

(5) 評価と支援の手立て【関心・意欲・態度】同じ大きさ・同じ形の二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた模様の中から、構成要素に着目して図形を見つけようとしている。

	A	B	C
具体の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで既習の図形以外の形を見つけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きさ・同じ形の二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた模様の中から、構成要素に着目して図形を見つけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成要素に着目して、既習の図形を見つけようとするしない。
予想される反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤのような形が見える。 ・長方形をななめにした形が見える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形の同じ辺を使っていて、たてが1つ分、横が2つ分使われているし、角が直角だから長方形。 ・二等辺三角形の同じ角を使っているから、2つの角の大きさは等しくて、二等辺三角形になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色が気になってうまく見つけられない。 ・既習の図形について、なぜその形であるのか説明できない。
指導の手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・未習の図形の名前を考えてみるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の図形のほかに、見える図形はないかを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見える図形を指でなぞってみる。 ・二等辺三角形がいくつつながって、図形の辺となっているかを数えさせる。

6 板書計画

課題 しきつめたもようの中から、 色々な図形を見つけ出そう。	○二等辺三角形 ・長方形 ・正方形 ・二等辺三角形   	まとめ 辺の長さや角の大きさに気をつけると、何の図形が見つかることができた。
見通し ・横に長い三角形 ・大きな二等辺三角形	・直角二等辺三角形 ・ダイヤの形 ・長方形をななめにした形   	

7 座席表

単元名「5 三角形のなかまを調べよう」13時間

【目標】								
<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形や正三角形の概念や性質について理解し、それを構成したり用いたりする能力を伸ばす。 角の概念や大きさについて理解し、図形と関連して角を用いたり、回転の大きさとしての角を測定したり、かいたりすることができる。 								
関心・意欲・態度		数学的な考え方		表現・処理		知識・理解		
<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形や正三角形の性質や美しさに関心をもち、身の回りからそれらの形を探そうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 辺の長さや角の大きさに着目して、三角形の性質などを見出す。 角の大きさを比べるときに、長さや重さなどの場合と同じように、単位の大きさのいくつ分と数値化して考える。 		<ul style="list-style-type: none"> 定義や性質に基づいて二等辺三角形や正三角形を正確に作図することができる。 分度器を用いて角度をはかったり、角をかいたりすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形や正三角形の定義、性質を理解する。 分度器を用いた角度のはかり方、角のかき方を理解する。 		
小 単 元	目 標	学 習 内 容 ・ 活 動 (時 数)	評 価 規 準					
			具 体 の 評 価 規 準 (評 価 方 法)					
			関心・意欲・ 態度	数学的な 考え方	表現・処理	知識・理解	支援計画	
二 等 辺 三 角 形 と 正 三 角 形	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな三角形の中から、辺の長さに着目して三角形を弁別することができる。 二等辺三角形と正三角形の定義を理解し、これらを弁別することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円形ジオボードを用いていろいろな三角形をつくり、できた三角形を辺の長さに着目して分類をする。 「二等辺三角形」「正三角形」の定義を理解する。 いろいろな三角形の中から、二等辺三角形や正三角形を弁別する(2) <p style="text-align: center;">発 展</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りから正三角形や二等辺三角形の形をしたものを見つけて弁別する。 	<ul style="list-style-type: none"> 辺の長さに着目して、いろいろな三角形を作るうとしている。 いろいろな三角形を作るために、工夫したことを学習感想に記述できる。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> 辺の長さに着目して、三角形の性質などを見出している。 「2つの辺の長さが同じ」「3つの辺の長さが同じ」「全て違う」の3つの仲間に三角形を分類できる。(イウ) 		<ul style="list-style-type: none"> 【関・意・態】 三角形の仲間分けの観点について記述できるようにする。 同じ三角形を作らないように、どんな工夫をしたか想起させ、感想を書かせる。 【考え方】 仲間分けの観点を説明できるようにする。 一つの三角形の中で、同じ長さの辺は同じ色で塗らせ、辺の長さに着目させる。 		
			<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形のかき方を理解し、指定された二等辺三角形をかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 底辺が4cmで他の辺が5cmの二等辺三角形のかき方を考える。 コンパスと定規を用いて上記の二等辺三角形を作図する。(1) <p style="text-align: center;">補 充</p> <ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の作図をする。 			<ul style="list-style-type: none"> コンパスと定規を用いて、二等辺三角形を作図することができる。 コンパスと定規を用いて、指定された二等辺三角形をかくことができる。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> 【表現・処理】 円の半径を利用して二等辺三角形をかくことができるようにする。 コンパスは、同じ長さを測ることができる道具であることを想起させ、作図させる。 【知識・理解】 円の半径を利用して二等辺三角形をかくことができる理由を説明できる。 作図の手順を操作を通して理解させる。個別指導を行う。
			<ul style="list-style-type: none"> 正三角形のかき方を理解し、指定された正三角形をかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3辺が5cmの正三角形のかき方を考える。 コンパスと定規を用いて上記の正三角形を作図する。 二等辺三角形と正三角形の作図の練習をする。(1) 			<ul style="list-style-type: none"> コンパスと定規を用いて、正三角形を作図することができる。 コンパスと定規を用いて、指定された正三角形をかくことができる。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> 【表現・処理】 円の半径を利用して、正三角形をかくことができるようにする。 二等辺三角形を作図した際のコンパスの使い方を想起させ、作図させる。

<p>三角形と角</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形としての角の概念を理解し、角の大きさを比べることができる。 ・二等辺三角形や正三角形の角の性質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前に作図した二等辺三角形と正三角形の角の大きさを比べる。 ・「角」の概念を理解する。 ・角の大きさは辺の長さに関係がないことを理解する。 ・二等辺三角形、正三角形のそれぞれの3つの角の大きさを比べる。 ・二等辺三角形、正三角形の性質をまとめる。(2) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">補 充</div> <ul style="list-style-type: none"> ・2枚の三角定規を用いた角の大きさの練習問題 		<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形や正三角形の角の大きさを比べる方法を考えることができる。 ・三つ角を比べることができる。 ・重なりあっている角の大きさを比べることができる。 		<p>角の大きさは辺の長さと関係ないこと、二等辺三角形と正三角形の角の性質を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形と正三角形の角の性質を具体物を通して説明できる。(アイ) 	<p>【考え方】 直接比較できない場合の比べ方について説明できるようにする。</p> <p>実際に動かすことができることから、直接比較することに気づかせ、大小の見分け方を指導する。</p> <p>【知識・理解】 様々な二等辺三角形や正三角形を作図させ、定義を確かめさせる。</p> <p>折って重ねる活動を通して、どことどの角の大きさが同じかを確認して、定義につなげていく。</p>
<p>回転の角の大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半直線が回転してできる角の大きさについて理解する。 ・直角を単位とした回転角の大きさの表し方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円の半径を使うと頂角がいろいろな大きさの二等辺三角形ができることから本時の課題をとらえる。 ・折り込みの2枚の円盤を組み合わせていろいろな角をつくり、角の大きさがどのように変わるか調べる。 ・角の大きさを、直角を単位にして表す。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・回転角の大きさの変わり方を調べようとしている。 ・学習感想に角の大きさの変化の仕方についての記述がある。(ウ) 		<p>半直線が回転すると、いろいろな大きさの角ができることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90度、180度、270度、360度を「直角いくつ分」ととらえることができる。(イウ) 	<p>【関・意・態】 今後角を通して学習していきたいことについて、具体的に記述させる。</p> <p>具体物(円板)を用いて、半直線が回転すると角の大きさが変わっていく様子をとらえさせる。</p>	<p>【知識・理解】 角の大きさは、いつでも直角を単位とするだけでいいか考えさせる。</p> <p>三角定規の直角の部分を使って、実際にいくつ分かをとらえさせる。</p>
<p>・角度の単位「角」を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分度器の目盛りの構造を調べる。 ・角度を表す単位「度(°)」を知り、1直角=90°の関係を理解する。(1) 			<ul style="list-style-type: none"> ・分度器の構造や1直角=90°の関係を理解する。 ・時間内に教科書の問題を全問正解できる。(ウ) 	<p>【知識・理解】 分度器には、なぜ左からつけた目盛りと右からつけた目盛りがあるか考えさせる。</p> <p>2直角(90×2)などの式から考えさせ、正答率を高める。</p>	<p>【表現・処理】 全問正解した児童は、練習問題に取り組ませ、習熟を図る。</p> <p>分度器の使い方を個別指導し、正答率を上げていく。</p>
<p>・分度器を用いた角度のはかり方を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分度器を用いた角度のはかり方を知り、いろいろな角の大きさをはかる。(1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発 展</div> <ul style="list-style-type: none"> ・正三角形の3つの角を調べる。 ・1組の三角定規のそれぞれの角や、組み合わせてできる角の大きさをはかる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・分度器を用いて、角度をはかることができる。 ・教科書の問題を時間内に全問正解する。(ウ) 			<p>【表現・処理】 全問正解した児童は、練習問題に取り組ませ、習熟を図る。</p> <p>分度器の使い方を個別指導し、正答率を上げていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・180°より大きい角度のはかり方を理解する。 ・対頂角の性質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・180°より大きい角度の工夫したはかり方を考える。 ・2直線が交わってできる向かい合った角の大きさを比べる。(1) 		<p>量の加法性に着目して、180°より大きい角度のはかり方を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・180°に含ませる、360°からひく、の 		<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の性質を理解している。 ・角を実測することにより、対頂角の大きさは同じであることがわかる。 	<p>【考え方】 2つの方法は、どんな場面で有効か考えさせる。</p> <p>180°よりも大きい部分の角度をはからせ、それより、対頂角の180°と合わせればよいことを個別指導で理解させる。</p> <p>1直線は180°であること</p>

		<p style="text-align: center;">発展</p> <p>・折り込みの2枚の円盤で全円分度器をつくり、いろいろな角度をつくってみる。</p>	<p>どちらかの方法を考えつく。 (イウ)</p>		<p>とから、対頂角の大きさが同じになることを計算を使って説明させる。 分度器の使い方を再度指導しながら実測させ、性質に気づかせる。</p>
	<p>・分度器を用いた角のかき方を理解する。</p>	<p>・分度器を用いた角のかき方を知り、いろいろな大きさの角を作図する。 (1)</p> <p style="text-align: center;">補充</p> <p>・角の作図</p> <p style="text-align: center;">発展</p> <p>・分度器を用いた角のかき方を活用して二等辺三角形を作図する。</p>		<p>・分度器を用いて、角をかきことができる。 ・教科書に提示してある角度を全てかきことができる。 (ウ)</p>	<p>【表現・処理】 180°より大きい角度をかくときの有効な方法を考え、それを用いてかきことができる。 角のかき方について個別指導を行い、技能を高める。</p>
まとめ	<p>・学習内容の理解を確認する。 ・学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる。</p>	<p>・「たしかめ」をする。</p> <p style="text-align: center;">発展</p> <p>・身の回りにある角度を探して、調べる。 (1)</p>		<p>・二等辺三角形と正三角形の性質、角度のはかり方を理解している。 ・時間内に教科書の問題を全問正解する。 (ウ)</p>	<p>【知識・理解】 全問正解した児童には、ドリルなどに取り組みせ、習熟を図る。 個別指導を行い、正答率を上げる。(具体物を用いて理解させる。)</p>

教材名「三角形をしきつめよう」 2時間 (本時2 / 2時間)

【目標】						
・二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて模様を作ることを通して、図形としての美しさを感じたり、図形の見方や感覚を豊かにしたりする。						
関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解			
・きれいな敷き詰め模様を進んで作るつとする。	・二等辺三角形や正三角形が敷き詰められる理由を考える。	・二等辺三角形や正三角形を敷き詰めることができる。	・敷き詰めた模様の中にいろいろな図形を見つけ、図形の定義に触れながら理由を述べる。			
評 価 規 準						
具 体 の 評 価 規 準 (評 価 方 法)						
目 標	学習内容・活動 (時 数)	関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解	支援計画
						おおむね満足できる子 努力を要する子
・二等辺三角形や正三角形も直線 (180 度) を考えれば敷き詰められることを、正方形や長方形が敷き詰められることから結びつけて考える。	発展 ・写真などを見て、敷き詰めに関心を持つ。 ・合同な三角形が敷き詰められる理由を考える。 (1)		・二等辺三角形や正三角形が敷き詰められる理由を考える。	・二等辺三角形や正三角形を敷き詰めることができる。		【考え方】 正方形や長方形が作る 2 直角と三角形の敷き詰めに関連して考えるようにさせる。 実際に敷き詰めて、そこに集まっている角度を測ってみるように促す。
			・直線 (180 度) に着目して、三角形の内角の和が 180 度であることに気づく。 (ウ、エ)	・二等辺三角形や正三角形を敷き詰める。 (ア)		【表現・処理】 どのように敷き詰めれば美しく見えるのか考えさせる。 辺の長さに着目させる。
本 時 ・二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて模様を作ることを通して、図形としての美しさを感じたり、図形の見方や感覚を豊かにしたりする。	発展 ・二等辺三角形や正三角形を隙間なく並べて、きれいな模様を作る。 ・敷き詰めた模様の中に新しい形を見つける。 ・同じ大きさで同じ形の二等辺三角形や正三角形は、隙間なく敷き詰められることをまとめる。 (1)	・同じ大きさ、同じ形の二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた模様の中から、構成要素に着目して図形を見つけようとしている。 ・敷き詰めた模様の中から、定義や性質を考えながら長方形や正方形などを見つけている。 (ウ)			・敷き詰めた模様の中に既習の図形を見つけ、図形の定義に基づき理由を述べることができる。 ・角の大きさや辺の長さに着目し、二等辺三角形や長方形などの既習の図形を定義に基づき説明することができる。 (イ)	【関・意・態】 既習図形のほかに、見えない図形はないかを促す。 二等辺三角形や正三角形の辺がいくつつながって、図形の辺となっているかを数えさせる。
			【知識・理解】 向きを変えたり、色を変えたりしながら三角形を敷き詰めることができる。 正三角形、二等辺三角形の定義について再確認させる。			

重点評価項目

評価方法

項	評 価 の 方 法	評 価 の 具 体 的 な 方 法
ア	行動観察	授業者または観察者のチェック
イ	発言分析	児童の発言回数、内容の分析
ウ	ノート、ワークシートへの記述の分析	記述の内容の分析
エ	自己評価、相互評価	自己評価カードによる評価、感想文などの分析
オ	テストによる評価	小テスト、単元テスト

○ 図形の名前

○ 理由

課 題

今日やってみて、感じたこと、思ったことなど自分の言葉でまとめてみましょう。
